

細木あけみ議会だより

第5号

発行
令和4年2月

細木明美事務所

〒690-0332
松江市鹿島町佐陀本郷624-3
TEL・FAX
0852-82-1180
E-mail
info@hosogi-akemi.jp
ホームページ
http://www.hosogi-akemi.jp

寅年は「成長」や「始まり」の年

昨年10月、長女の家族に二人目の子ども（男の子）が生まれました。感染防止の理由から、誕生時に病院に会いに行くこともできませんでしたが、「お食い初め」の御祝も家族4人だけで行いました。幸い娘家族は松江市内に住んでいるので、いつでも会える所にいますが、皆さんの中には、大事な人に長い間会えていないという方もいらっしゃるでしょう。辛いことです。こんな日がいつまで続くのか…と言いたいくらいですが、新たな年になりやっばり前を向いて進みたいです。

今年も寅年です。「壬寅（みずのえとら）」を調べてみると、「新しいものがぐんぐん成長したり、変革が起こる年」とありました。そう聞くと少しは気持ちも明るくなります。変革という言葉は気になります。いざれにしても私たちは「コロナ禍」を経験し、様々な事のやり方を変えざるを得ない状況を経て、既に考え方も変わってきているかもしれません。「転機」を「好機」と捉えて、コロナ前と同様に戻して継承すべきものと変えていくもの、変えるならどう変えるのか。自分の働き方やラ

イフスタイルもそうですが、加えて、地域の慣習や行事、自治会や各種団体の運営など慣例についても、誰もが自分事として考えてみる機会にはいかがでしょうか。

細木 明美



島根原発2号機の再稼働について!! 松江市議会の動き

11月定例会において

陳情29件を採決

松江市議会に提出された島根原発2号機の再稼働に関する陳情29件について、付託された島根原子力発電対策特別委員会において、1件ずつ陳情者の説明を聴き審査し、討論、採決も1件ずつ行いました。

そして、12月21日の定例会本会議では、委員長報告した内容のとおり、地元経済団体が出した早期再稼働を求める陳情8件は、賛成多数で「採択」、市民団体等が出した反対の陳情は「不採択」と決しました。これによって、松江市議会として「再稼働容認」という一定の方向性を示したことになります。

臨時会を開催し「住民投票条例(案)の制定」を否決

1月31日、市民団体「どうする島根原発? みんなで決める松江の会」が、島根原発2号機の再稼働の是非を問う住民投票を求め、上定市長に直接請求し、条例案と1万1006人分の署名簿を提出されました。

この署名は、直接請求に必要な数(有権者数の50分の1以上)の約3.3倍に当たりますが、実際は有権者の約半数の8万人分の署名を目標とされていたもので、一昨年、新庁舎建設をめぐる同様の動きがありました。その時集まった署名1万4145人分には及びませんでした。

2月8日に開催された臨時会に、上定市長は、「市民の皆さまから負託を受けた市長と市議会議員において、責任を持った立場で責任のある議論を経て判断する方法が最も相応しい」など条例制定に反対の意見を付けて条例案を提出しました。

市議会臨時会では、翌9日に条例制定を直接請求した市民団体の代表二人の意見陳述、10日に提出者の上定市長に質疑をしました。

そして最終日15日に、党派(松政クラブ、明政会、公明クラブ、共産党松江市議団)の代表4名と個人2名の議員が討論をしたのち起立による採決を行い、議長を除いた議員32名(1名欠席)のうち、賛成6名、反対24名で反対多数により否決しました。

上定市長が「再稼働容認」の意思を示す

2月15日の臨時会閉会後に開催し

た全員協議会において、上定市長が各党派に再稼働に対する意見を求めたのに対し、会派代表が意見を述べました。

- 松政クラブ、志翔の会、明政会、公明クラブ …… 賛成
- 共産党松江市議団 …… 反対
- 民主ネットワーク …… 反対
- …… 意見二分のため統一意見示さず

休憩を挟んで午後再開した全員協議会において市長は、安全性、必要性、避難対策、地域経済への影響の4点を重視し、「松江市は島根原発2号機の新規制基準に係る安全対策の事前了解について了解する」と述べ、松江市として「再稼働同意」という大きな判断を示しました。

島根町加賀の大規模火災に「被災者生活再建支援法」の適用決定!

令和3年4月1日17時頃に発生した島根町加賀の大規模火災(全焼22棟、部分焼2棟、ぼや8棟)は、火元が確定できないということから、当初は国の「被災者生活再建支援法」の適用は難しいと言われていましたが、このたび「強風による自然災害」として認められ、適用が受けられることが決定しました。(青木一彦参議院議員にご尽力いただきました。)(2月15日発表)

これにより、被害の程度によつて異なりますが、全壊世帯には最大300万円が支給され、生活再建が支援されます。

「過疎地域に指定された」ってどうなるの?

令和3年4月1日に新過疎法(「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」)が10年間の時限立法として施行され、過疎地域として、旧過疎法で指定されていた美保関町に加え、新たに鹿島町、島根町が区域指定されました。

これは、人口が著しく減少している地域について、持続的発展を支援していくことを目的とし、各自治体において計画(「過疎地域持続的発展計画」)を策定し、国の有

利な財源(「過疎対策事業債」)を活用して事業に取り組んでいくものです。

昨年は、7月に各地域において意見やアイデアを出し、それを受けて8月に市が3町のアイデアをまとめて計画案を作成、9月に各地域で確認、併せてパブリックコメントも募集したのち、11月議会に提案、12月に過疎計画が決定しました。

今後は、計画に盛り込んだ事業が一つでも多く実施できるよう、市に積極的に働きかけていきたいと思っております。

令和2年度 定例会 一般質問の内容

今回は令和2年11月と令和3年2月定例会に行った一般質問の
主な内容を紹介します。

【令和2年11月定例会】

島根半島沿岸部における漂着ごみについて

(質問) 近年の大型で強い台風や暴風、冬の季節風が吹いたあとの漂着ごみについてどう対応していくのか。特に状況がひどい多古漁港では、毎回住民が参加され、手作業での回収作業が行われている。ごみの処分について、環境保全部と港湾管理の産業経済部が連携協力し、支援の仕組みを構築して欲しい。今後の取り組みについて考えを伺う。

(答弁) 沿岸部の市民ボランティアや企業の社会貢献活動だけに頼るのではなく、年次の計画を立て、作業が困難な場所は行政が行うことにも取り組んでいきたい。地域住民の負担軽減や沿岸部の自然環境保全に努めたい。(環境保全部長)
環境保全部と連携した仕組みづくりが重要である。多古漁港のように、大量の漂着ごみで緊急な対応が必要な場合、市の関係部署が共同して迅速に対応していく必要があることを改めて認識した。多古漁港の取り組みを一つのモデルケースと位置づけて、地域住民や漁業者の負担軽減を考えたが対応を検討していきたい。(産業経済部長)
(令和3年2月には新たな仕組みが作られ、地域住民の作業軽減を図り、



迅速な実施と市の作業支援が強化された。

重要文化財の防火対策について

(質問) 松江市には多くの重要文化財があるが、防火や消火設備の設置は、所有者負担が大きいことから進んでいない。国宝松江城は松江市所有のため公費で賄えるが、民間所有の重要文化財の維持保存には行政支援が必要だと強く感じる。大切な宝を後世に守り伝えていくために、市独自の支援策ができないか。

(答弁) 現在、松江市には国宝・重要文化財としての建造物が7件あり、そのうち6件が民間所有である。国においては、世界遺産・国宝等における防火対策5か年計画を策定し、補助率のかさ上げ等で進めている。

国の計画に呼応して、松江市独自の所有者負担軽減策を前向きに検討したい。
(佐太神社の防災施設整備が補助対象事業となり、令和3年から4年度全額公費で実施されることになった。)

イノシシ被害の実態と今後の取り組みについて

(質問) 毎年イノシシなど有害鳥獣による農作物被害が増加している。現在の市の対策では不十分ではないか。個体数調整の捕獲数は今の計画でよいのか。奨励金や防護柵の設置支援などの対策強化や、新たな対策など今後の取り組みについて考えを伺う。

(答弁) 松江市鳥獣被害防止計画により、令和2年度からの3年間、毎年イノシシ1000頭を捕獲する計画にしているが、捕獲頭数を増やす必要があると考えている。捕獲奨励金は近隣市とほぼ同額と認識しているが、奨励金支払いに必要な捕獲個体の確認検収の費用を新設した。今後イノシシの対策強化は重要であり、公民館単位での研修会や、意見交換、地域の対策リーダー養成などの強化を図っていきたい。
(捕獲奨励金の単価改正、防護柵購入費の2分の1助成などを含む有害鳥獣駆除対策補助金として、令和3年当初予算に総額約2000万円が計上された。)

松江市におけるデジタル化の取り組みについて

(質問) 今後の取り組みについて伺う。

(答弁) 市民サービスの向上と職員の業務効率化を2本の柱として、仮称松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画を策定する予定にしている。電子申請の拡充、SNS等の積極的な活用、官民オープンデータの利活用など市民が利用しやすい仕組みづくりと、AI、RPAの活用の拡充、文書の電子化、チャットなど新しいコミュニケーションを用いた業務の効率化、テレワークの実施などにより、働き方改革や業務の効率化に取り組んでいく方針である。

【令和3年2月定例会】

松江市の移住推進と空き家対策について

(質問) コロナの影響で、若い世代を中心に地方への関心が増している。移住希望者の状況や今のニーズを見て、戦略的な空き家対策、移住・定住促進策を進めることが必要ではないか。また、前の住人が残した家財道具などのごみ処理や清掃に係る費用を支援することも有効ではないか。見解を伺う。

(答弁) 多様なニーズに対応するために、空き家を単なる物件として紹介するのではなく、立地する地域の自然環境や魅力ある暮らしぶり、伝統行事等を写真や動画等も活用してセットで紹介することで訴求力が高まるものと考えている。ごみ処理等の支援策については、今後の戦略的な空き家対策を考えて行く中での検討事項としたい。

このほか、次の2項目についても質問しました。
・人口ビジョンと総合戦略について

・新型コロナウイルス感染症関連について

2月定例会日程

- ◆ 2月22日(火) 本会議(会期の決定、提案説明)
- ◆ 2月28日(月)
- ◆ 3月1日(火) 本会議(一般質問)
- ◆ 3月2日(水)
- ◆ 3月3日(木) 予算委員会(質疑、分科会分担・委託)
- ◆ 3月4日(金) 3月7日(月) 総務委員会・予算委員会総務分科会
- ◆ 3月8日(火) 3月9日(水) 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
- ◆ 3月10日(木) 経済委員会・予算委員会経済分科会
- ◆ 3月11日(金) 経済委員会・予算委員会経済分科会
- ◆ 建設環境委員会現地視察
- ◆ 3月14日(月) 3月15日(火) 建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
- ◆ 3月18日(金) 予算委員会(分科会長報告・質疑、討論、採決)
- ◆ 3月24日(木) 本会議(委員長報告・質疑、討論、採決)

編集後記

卒業、入学の季節になりました。まだ不安な日々が続きますが、若い人たちには希望を持って新たな一歩を踏み出して欲しいと願っています。そして今年こそ満開の桜の花を楽しめる日が来ることを祈っています。